

ヒューマンエラーを軽減する食材管理ラベルを
簡単に作成できるラベルプリンタを紹介
「FOOMA JAPAN 2018 国際食品工業展」に出展

マックス株式会社(証券コード6454)は、6月12日(火)～15日(金)に、東京ビッグサイトで開催される「FOOMA JAPAN 2018 国際食品工業展」に出展します。

レストランなどでは、冷凍食品を解凍した時や調味料を開封した時、使用期限を記載したラベル(食材管理ラベル)を貼って管理します。期限の設定はお店ごとに決められており、手書きで記載することが多いため、期限の計算間違い、手書きによる誤読などのヒューマンエラーが発生しやすい環境です。

今回提案するのは、**食材管理ラベルを簡単に作成できるラベルプリンタ「LP-55SAⅢ」**です。ラベルプリンタの文字なら判読しやすく、期限を計算する必要もありません。

当日は食材管理ラベル作成の実演を行います。また、食材管理についてのアンケートにご協力頂いたお客様には、粗品を進呈いたします。

ブースは、**東4ホール 4Q-23**です。皆さまのご来場をお待ちしております。ぜひ、会場でご体感ください。

◆ 提案内容

○従来の食材管理ラベル



<問題点>

- 手書きだと読み間違える可能性がある
- 期限をその場で計算しないとイケない



○ラベルプリンタ「LP-55SAⅢ」による
食材管理ラベル作成



<ラベルプリンタのメリット>

- 文字の判読がしやすい
- 使用期限を自動で計算する

専用PCソフト「楽らくラベルStandard」

《本件に関するお問い合わせ先》 **マックス株式会社**
総務部 IR・広報セクション TEL.03-3669-8106
報道に関するお問い合わせは、[こちら](#)まで